

## 【市議会最前線】市民に身近で・親しみやすい・開かれた議会を目指して「アロハ議会」を開催＝いわき市（福島県）

24/06/03 08:00 Ln001

いわき市議会では、年度当初に開催される定例会において「アロハ議会」を開催しています。この取組は、平成18年の議員の発案をきっかけに、本市の歴史や魅力などを全国に発信するため実施しているものです。

いわき市は、かつて炭鉱のまちとして栄えましたが、石炭から石油へのエネルギーシフトによる炭鉱閉鎖の苦境に、多くの市民が直面しました。

そのような中、起死回生の策として、炭鉱で排出される温泉を活用し、当時の日本人の憧れであったハワイをイメージしたテーマパークが誕生し、そのアトラクションの一つとしてフラダンスショーが行われるようになりました。

少し前の話になりますが、平成18年に全国公開された映画『フラガール』は、こうした本市の実話に基づくストーリーとなっており、この映画がきっかけで、市内には、たくさんのフラダンスサークルができるなど、本市のブランドメッセージである「フラシティいわき」の原点が作られました。

市議会では、この映画の全国公開と市制施行40周年が重なった平成18年及び市制施行50周年の平成28年に、市の魅力を広く内外に発信するため、両年の6月定例会において、議員、理事者がアロハシャツを着用するとともに、映画の題材にもなったフラガールがダンスを披露する「アロハ議会」を開催しました。このときばかりは、普段、厳粛な議場がとて華やかな雰囲気になりました。

このような経緯と市の取組である地球温暖化の防止及び省エネルギー対策も相まって、平成29年以降、市職員の軽装期間中に開催される6月定例会では、フラダンスの披露はないものの、議員、理事者がアロハシャツを着用する「アロハ議会」を毎年開催しています。

また、市議会主催事業として、小学校4年生から6年生とその保護者を対象に毎年開催している「おやこ議場見学会」では、正副議長、議員及び事務局職員がアロハシャツを着用し、アロハ議会開催の経緯等を説明するなど、市民に開かれた議会として、次代を担う子供達に、市民とともに歩む市議会の役割への理解と政治参画への意欲を高めてもらう取組を実施しているところです。

いわき市議会では、このような取組を通して、市民に身近で・親しみやすい・開かれた議会を目指してまいります。(了)



アロハ議会の様子



おやこ議場見学会の様子